

とむ ふたひの原山中略布留野原大和中略ふか草原山まら藤生野形原山城、春のいはしの原河三
 中国○越松原中略越すか原中略戀松原播州中略昆陽松原○の原たきののまつ原○の原○
 あちふの原○あなしのひ原○あさ澤原○あこにの原○あはづ原○あふみ味野原○
 中あだちが原○逢松原○あを木の原○あはづ原○あふみ味野原○
 をやぎ原○春らみ暮朝羽原○のまつ原○湯の原○みやけの原○
 の、原○三形原○瓶原○みかきの原○三わのひ原○みやけの原○
 かさの原○御津の松原○宮ぎが原○みやの松原○八峯野原○
 ぶが原○篠原○しめぢが原○しきみが原○志津原○ひら野の原○
 ひなの松○御説○八もろこしの原○しきみが原○志津原○ひら野の原○
 せき原○御説○八もろこしの原○しきみが原○志津原○ひら野の原○
 【書言字考節用集二】乾二三方原カダハラ遠州郡敷
 【梅花無盡藏二】箕形○原始望富士
 天邊万仍似看形高叫奇々御笠行猶秘士峯真面目亂雲迷處未分明未刻、步遠江之箕形原、始望富
 【甲陽軍鑑十二品第三十九】極月廿二日に濱松味方が原までをし詰被成る○元龜三年壬申極月廿
 二日、遠州味方が原の御一戰是なり、法性院信玄公五十二歳の御時如件、
 【和漢三才圖會八】駿河浮島原 在富士麓原與沼津之間、東西二十町餘、
 【國花萬葉記八】駿河駿河國中舊跡之部
 浮島が原 東西三十里也、但六町を一里とすと云へり、ふじと此原の間は沼也、はらより南は大
 海なり、ふじ川より東に見付と云所有、是より次を浮島が原と云と也、景物歌には浮島の原共讀
 り、柳、螢、薄、有明月、雪千鳥、松のむら立富士よみ合あしがらよみ合